

さいたま

YEG

新聞

7月号



令和3年度 会長
加賀崎 彰人くん

知・情・意

研鑽と情熱が次代への礎となる

縁が生い茂り穂が稔る文月となりました。さて、延期となっていたオリンピックの収束はまだ見通しがたつていません。私達のビジネスにおいても先行きが見通せない時期が続いている事でしょう。しかしながら私達が率先して活動する事で、会員のみならず地域社会も活性化していけるよう歩み続ける次第です。さいたまYEGは6月から本格的に活動をおこなっています。

6月の例会においては多くのメンバーがデジタルマーケティングを学べたのではないのでしょうか。また上尾YEGとのビジネス交流会も盛況にて9月の第二回とつながります。7月に入り会員親睦会や、さいたま商工業イメーリアップキャラクターの募集が始まります。単会内で多くの仲間を創り自身の研鑽へつなげて欲しいと思います。今私達に出来ることは何でしょうか？自粛でしょうか、限られた条件で歩みを進める事でしょうか？さいたまYEGメンバーは経済団体のメンバーであります。地域経済の活力となる姿でさいたま市を活性化させましょう。

今月の新入会委員紹介

みむら接骨院 三村氏
会社概要

マッサージをするところではなく、保険を使つてけがの治療をする場所。骨折、脱臼、打撲捻挫、座礁等のけがを、整形外科より早く治すところ。

こだわり

修行時代にスキー場の救護室で働いて、そこでは骨折、脱臼等の事故が年間200件ぐらいあった。土日は特に多く、脱臼等の症状はその場で治療していた。通常の接骨院では、年間2、3件ぐらいの症状だが、2シーズンで約400件120年分の経験を持っている。例えば足首の捻挫、全治6週間のケガをみむら接骨院では2週間で治す。接骨院では日本初でギプスを扱っている。少年団の保護者向けに、放置してはいけない痛みの勉強会をこれから開いていく。

少年野球 ひじの外側の痛み すぐ病院へ

みむら接骨院 三村さん



・なやみ

8月で2年、認知度があがらない。ユーチューブとかで紹介、地域新聞、Facebookで宣伝をしている。

・YEGに期待すること

・将来のビジョン
リハビリの勉強。手で治す十正しい体の使い方。

・経営ビジョン
健康産業に社会福祉の方向に。

理念



怪我を治したい・昔のように・もう一度
という意味の「RE」

今までできなかったこと
我慢していたこと
上のレベルに挑戦する
という意味の「CHALLENGE」

生涯を通して
スポーツを楽しむ時代の中で
この2つの実現を目指します。

